

### 市内各地で春の大清掃

～ 国道7号線&金浦港のクリーンアップ活動～  
ようやく春を迎え、市内では各種団体やグループによる清掃ボランティア活動が行われています。

3月27日、国際ロータリー・象潟ロータリークラブとガールスカウト秋田県連盟・秋田第4団の22名が国道7号線（象潟シーサイドホテル～温泉保養センターはまなす間）の清掃活動を行いました。このグループでは、他市町村から当市を訪れる方が、気持ち良くドライブして欲しいという思いから、同コースを20年以上も清掃しています。

4月13日には、金浦地区の漁師ら53名が金浦漁港を清掃。これは花見の時期に併せ観光客が気持ちよく訪れることができるようにと毎年開催しているものです。この日は湾内を中心に、ナイロン袋やペットボトル等を手際よく集めました。漁師らは「この港は南西の風や波の影響を受けやすいからゴミが溜まる。特に川が増水するこの時期は顕著だ」と、大くのゴミに少しうんざりしつつも、清々しい面持ちで作業を繰り返していました。



漁の妨げとなるナイロンゴミが目立つ

### 新しいチームメイトを迎える

～ にかほ市スポーツ少年団入団式～

4月20日、金浦小学校体育館でにかほ市スポーツ少年団入団式が行われ、団員や保護者など約700名が出席しました。25年度の団員数は、24年度途中入団者25名と25年度新規入団者113名を含め532名。

入団式では、新規入団員1人ひとりが指導者から名前を呼ばれると大きな返事と供に登壇し、中津本部長から団員章を受け取りました。また「誓いのことば」では、新入団員代表ジャングルキッズスポ少の伊藤優杏さんが「わたしたちは、スポーツの喜びを学び、友情と協力を大切にします」と力強く宣誓しました。



少し緊張気味に団員章を受け取る新入団員

### 池田修三ワールドへの誘い

～ 池田修三作品展 はじまり～

4月20日、象潟公会堂で旧象潟町出身の版画家「池田修三」の作品展が開催されました。これは全国的に人気の秋田県PR誌「のんびり」が企画したもので、会場には市民などから集めた作品約100点が展示され、県内外から訪れた330人の来場者の目を楽しませました。

この日は、作品展を企画した「のんびり」編集長と当市学芸員による「池田修三という、のんびりな人」と題したトークショーも行われ、池田修三氏の作風や人物像などが語られました。岩手県から訪れた女性は作品について「絵柄の愛らしさが好き」と語っていました。



どこか懐かしさのある作品に、足を止める来場者



名刺はその人自身！大切に両手で受け取ります

### 社会人の自覚と責任

～ 市商工会主催「新入社員合同研修会」～

4月10日、市商工会金浦本所で新入社員合同研修会が行われ、市内のサービス業や製造業、建設業の事業所からこの春就業した20名が参加しました。

ビジネスマナー講習では、立ち振るまいや言葉遣いを確認。身だしなみは相手視点で装うことや、お辞儀の仕方、名刺の受け渡しなどを教わりました。参加者は、2人1組で動作をおさらいすると、緊張した面持ちで馴れない仕様に戸惑う場面もありました。講師の北都銀行伊藤末子さんは「相手を思いやる気持ちがあれば身に着く。意識して実践しましょう」と話しました。

### 大きくなって帰ってきてね

～ サケ稚魚放流体験学習～

4月11日から23日にかけて、市内全小学校によるサケ稚魚放流体験学習が開催されました。これは、鮭の生態を学び、自然環境保全や漁業への関心を高めてもらうことを目的に毎年開催されています。今年も川袋川、奈曾川、象潟川、大沢川の計4カ所で約19万匹が放流されました。

大沢川では院内小学校の3年生（24名）が6cmほどの稚魚約2万匹を放流しました。参加した佐々木胡夏さんは「小さくてかわいかった。何回も帰ってきてと声をかけた」と、目を丸くして話してくれました。



帰って来た時、僕らは中学生かな？

### 市共通の盆踊りが完成！

～ 勢至公園観桜会イベント～

4月20日、ようやく桜が見頃を迎えた勢至公園にて、観桜会イベントが開催されました。特設ステージでは、金浦地区に伝わる伝統芸能「金浦神楽」やフラダンスが披露され、多くの来場者を楽しませました。

そしてこの日は、完成したばかりの盆踊り「にかほ音頭」が初披露されました。これは、市観光協会が先となり関係団体らの協力のもと制作したもので、市の共通の盆踊りとなります。市が発足してから誕生が待たれていた「にかほ音頭」は今後、各種イベントや各町内会の盆踊りでも披露されることとなるようです。



皆さんも一緒に踊りましょう♪「にかほ音頭」